

原研ホットラボの冶金ケープ

日本原子力研究所のホット・ラボ拡張計画が、この程度で九...

大型の英国式ケープ

東海発電所使用済み燃料を検査

原研ホットラボ拡張計画

原子力研究所のホット・ラボのなかの試料は、ホットラボに...

用脚度はケープ内に多く、また放射能のレベルも高くなる...

地方と結んだ開発

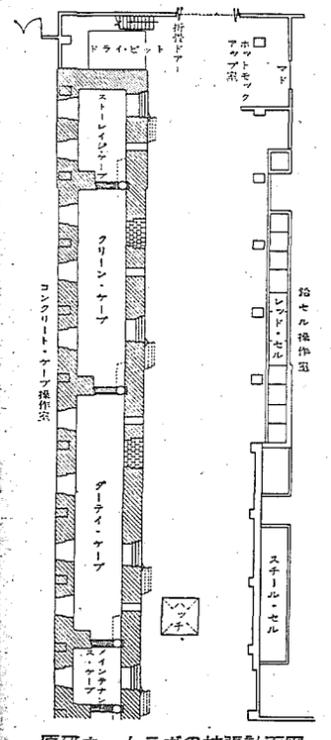
英仏の核燃料施設を見る



加速器

このたび、原研の再処理工場...

また機械もかなりせいかい使用...



原研ホットラボの拡張計画図

新設ホトに三十人既設のラボに...

用を支出するにせよ、弾力性...

IAEAの技術援助に派遣

原子力委員 三氏を派遣

原子力委員 三氏を派遣

原子力委員ではかねて国際原...

日本のエネルギー問題

から総合エネルギー政策の必要を...

産業界論入門

原子力産業便り

Materials Handbook

原子力産業便り

Advertisement for 'Atomic Energy Yearbook' (原子力年鑑) with details on content and price.

インド IAEA の査察に同意

米印双務協定 近く調印

インドは同国が計画中の三千万ワット原子力発電所に対し、全出力運転に到達後 IAEA の査察を受け入れることに同意した。この結果アメリカはタラプール計画に八千万ドルの借款供与と手続をすすめており、同国 IAEA は初期燃料約千五百万ドルも延払いの条件で提供することになるものとみられる。

初期装置は延払い

インドは今回の査察受け入れをアメリカから濃縮ウランを輸入する必要があるため例外的なケースとみなしており、IAEA の査察機構に原則的に反対する態度は変えていない。すなわち、単に原子炉の構成部分を入力する場合や、あるいは将来同国が建設する原子炉については、依然査察を拒否する立場をとっている。

アメリカ国務省の国際開発局は査察に関するインドとの合意もあって、タラプール計画に八千万ドルの借款を供与する手続をすすめている。この借款は一九六三

日本の査察移管を承認

大型炉への拡大も決定

IAEA による安全査察の権限を十兆 Kw 以上の原子炉に拡大する提案は、六月十九日の IAEA 理事会で反対なし、賛成三〇票、インド、南阿連邦で可決された。

最初から IAEA の査察を非難していたソ連がこの提案を支持したことは、アメリカや西欧の代表たちを困惑させた。ソ連の意向はアメリカ、イギリス、フランスについで第五、核保有国が反対することを阻止する点にあった。これはなかば認められている。理事会はラダース委員会(任)が作成した規則案を暫定的に承認し、細かい査察手続については

セラミック燃料は

原子力発電に光明

IAEA 事務局長ジグバード・エーランド氏は七月一日から開催された原子力燃料技術会議の開会式で、非金属原子力燃料要素は原子力発電を競争させるために十分関心が持たれるものであると語った。

エーランド氏は原子力発電所の最近の運転経験から、プラントの作業温度、燃焼度、負荷率、寿命が以前より向上したことで、原子力発電の将来の役割に関して重要な論議が広まっていると述べている。

既存の炉では、燃料と被覆材の温度制限で運転温度や正味のプラント効率が左右される。たとえばマグネシウム被覆材では、蒸気温度は四〇〇度が限度であり、マンガンスルフィド水炉の正味効率は約三〇%である。

セラミック燃料は

原子力発電に光明

他方、ステンレス鋼被覆酸化ウラン燃料は蒸気温度が約四八〇度、黒鉛に分散させたウランカーバイド・セラミック燃料は五四〇度の蒸気温度が得られ、二五%の効率になる。

エーランド氏のいうセラミック燃料は、燃料の放射線安定性とより高い運転温度によって良好に燃焼度を上げられる可能性がある。これは燃料を有利に利用できる。現在に燃料を投入する必要がある。これを満足するものが非金属燃料要素であり、原子力発電をより有利にするためにこの燃料は十分価値がある。

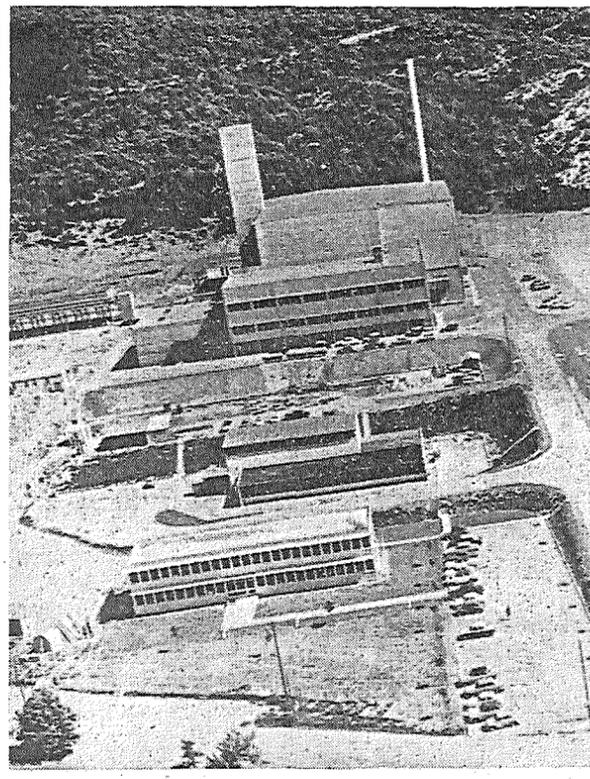
非金属燃料の特性はまた研究の途上であり、酸化ウラン、炭化物、硝酸塩などのセラミック燃料の製造技術に研究が向けられている。一方、この燃料の加工、組成割合を変えた新燃料の加工、炉中の燃料の挙動などを試験する段階にある。

初会合は十八日に

通産 原子力産業部会を復活

通産省は目下原子力発電計画の具体的な推進策を詰めるため、産業合理化審議会の原子力産業部会を改組して復活する準備を進めている。

通産省の産業合理化審議会は通産大臣の諮問に応じて産業合理化の一般方針、産業立地の適正化、企業経営の合理化、その他産業合理化に関する重要事項を審議し、または建議する組織であるが、原子力部会は昭和三十五年七月に中間報告を、同月十一月に答申を提出したのち休会となっていたが、しかし原子力長期計画の進展につれて、その基本となる



明年再検討をめぐらざることを決定した。日米双務協定の対象である原子炉の査察を IAEA に移管する三者協定は、十六対三(反対はソ連、ポーランド、ハンガリー)で承認されたが、三者協定の形式は今後の同種の協定に対する先例にはならないことが確認されている。

このほか理事会は、国際理論物理解センターの設置(別項参照)などを決定し、一九六四年度予算案を採択した。予算は経常予算七百四十四万四千五百円、事業予算二百三十六万七千五百円、合計九百八十一万一千二百円となっている。

【注】ラダース委員会・ソルウ子核反応、発電炉、産業および研究員会で、IAEA の安全査察に関する現行規則を起草した。保健安全問題で、労働幹部が研修。七月八日から一週間の経済協力開発機構(OECD)に加盟している十二カ国の三十名にわたる労働組合幹部が、原子力平和利用に関連した保健安全問題のトレーニング・コースに参加した。このコースはイギリス IAEA のハワードセンターの設置(別項参照)などを決定し、一九六四年度予算案を採択した。予算は経常予算七百四十四万四千五百円、事業予算二百三十六万七千五百円、合計九百八十一万一千二百円となっている。

在来機器の破損が多い

IAEA 運転経験会議で苦情

IAEA により六月五日から五日間開催された運転経験に関する会議で、原子力発電所技術者は在来機器の破損が多過ぎるといふ点で、労働者に苦情を表明した。提出されたレポートは世界で現在動いている二十の原子炉から得られた運転経験に基づいている。

報告された運転経験で一致した見解は、この種のコースは OECD が企画した第一番目のもので、昨年十月の第二次 IAEA のサクレ・センターで行なわれたコースに続くものである。

IAEA 理事会は長らく懸案であった国際理論物理解センターの設置について、明年の上半期までにイタリアのトリエステに暫定的な施設を作ることを選定した。この施設は四年間の運営のち評価がおこなわれ、このセンターを先進国はどこかへ移すか、トリエステで続けるか、あるいは閉鎖するかが決める。

イタリアは施設の建設を引き受け、さらに年額千五百万ドルの運営費を負担することになった。IAEA は年額五百万ドルの運営費を負担し、その他の追加費用としては総額十一万ドル(四年間に支出する)となった。

この提案の採決に当たってアメリカは慎重な賛成し、イギリスとソ連はこの計画を非難したが反対しなかった。

【写真】カタルニャに建設されたフランス四番目の原子力研究センターが五月三十一日開所された。予算約十二億フラン(八百八十億円)で建設を開始した同センターは、発電炉や船舶用原子炉を開発するための試験所をすでに整備しつつある。この研究センターの開所により、原子力潜水艦の開発も行なわれる。非軍事用では重水減速型原子炉がガサスが五月下旬に可動し始めている。

【写真】カタルニャに建設されたフランス四番目の原子力研究センターが五月三十一日開所された。予算約十二億フラン(八百八十億円)で建設を開始した同センターは、発電炉や船舶用原子炉を開発するための試験所をすでに整備しつつある。この研究センターの開所により、原子力潜水艦の開発も行なわれる。非軍事用では重水減速型原子炉がガサスが五月下旬に可動し始めている。

放射能調査対策研究

究委託費交付決定

原子力局は六月二十六日、昭和三十八年度放射能調査対策研究委託費の交付を決定した。総額七百五十万円で、放射線影響協会の乳幼児対策に関する調査研究に百二十万、大阪府の放射能対策に関する基礎的調査研究に二百四十三万七千円、日本乳業技術協会の放射能除去設備に関する調査研究に三百二十六万四千円、いずれも研究期間は昭和三十八年七月一日から明年三月三十一日まで。

京都市で現地討論会

学芸主催 原燃の後援

日本原子力学会では八月二十七日(八月)、原子燃料公社が後援して京都府竹野郡丹波町間人(たいぎ)で第二回資源探査現地討論会を開く。テーマは「人形峠鉱床と異なる型の第三紀ウラン鉱床の探査」特に奥丹波地域について。日程は二十七日地質学と現場討論、二十八日討論となる。



富士重工業株式会社

取締役社長 横田 信夫

東京都千代田区丸の内2-18

電話 (212) 5311(大代表)

新着書御案内

Chemistry in Nuclear Technology. By S. Peterson & R. G. Wymer. 374 p. 1963 (Addison-Wesley)	¥ 5,000
Interstellar Communication: A collection of reprint and original contributions. By A. G. W. Cameron. 320 p. 1963 (Benjamin)	3,740
1961 International Conference on Machine Translation of Languages and Applied Language Analysis. "National Physical Laboratory Symposium No. 13" 1962 (H. M. S. O)	3,000
The Physics of Engineering Solids. By T. S. Hutchinson & D. C. Baird. 38 p. 1963 (Wiley)	3,200
Proceedings of the International School of Physics "Enrico Fermi" Course 20: Moller, C. - Evidence for Gravitational Theories. (Societa Italiana di Fisica) 264 p. 1962 (Academic P.)	4,000
Recent Research on Beta-Disintegration. By A. I. Alikhanov. "International Series of Monographs on Nuclear Energy, Vol. 12" 130 p. 1963 (Pergamon P.)	1,200

東京都新宿区角筈地 1丁目826番 株式会社 紀伊國屋書店 振替東京 125575 電話 代表 0131

日本原子力発電会社は七月十日、茨城県海浜村に建設しているコールドホール改良型発電所（出力十六万六千KW）に使用する燃料要素購入契約の調印を完了したと発表した。この調印はロンドンで、現地時間十一日午前十三時三十分、原電社長一本松珠義氏と英国原子力公社総裁ロジャー・メーキンス卿間で行なわれたものである。

この燃料要素はマグノックス被覆、黒鉛スリプ付天然ウラン中空棒の燃料で、その性能は、英国原子力公社のチャペル

十年間に約百億円

原電 英と燃料契約に調印

クロソ原子炉での実験や、ウイとして補充用などを購入する予定で、使用済燃料は原電側から買い戻しを希望すれば、英国側で買取することを契約した。第一回の購入分は、三十五万円で、十年間の燃料所要量から推定する燃料要素購入契約の調印を完了したと発表した。この調印はロンドンで、現地時間十一日午前十三時三十分、原電社長一本松珠義氏と英国原子力公社総裁ロジャー・メーキンス卿間で行なわれたものである。

原研に設置の線有力

開発とコンサルタント重点に

原子力委員会では七月九日午後四時半から科学技術庁でR1センターの設置に関する第二回打合せをひらき、原研総務部長がR1センターを原研に設置した場合の構想を発表した。これを中心に意見を交換した。民間側も研究センターに賛成し、原研設置の方向に出席者の意見が一致した。原子力委員会がこれを決定すれば、三十九年度予算に組み込まれることになる。

前回の打合せでは、R1の生産、頒布、廃棄物処理を対象とする業務を、すべてR1センターにまかせる一元的体制、つまり特殊法人あるいは財団法人のセンターを設置するの、従来原研と放同協が生産と頒布を分担し合っているような方式にするか、あるいは原研内部にセンターを設置するのか、などの点が討議の対象となっていた。



原子力委員会第二回打合せの様子

- ▽研究部(従来の研究、利用開発研究、製造研究)
- ▽製造部(精製核種の製造、コールドホール)
- ▽燃料部(核分裂生成物の分離製造)
- ▽研究部(初級研究所、高級研究所)

今回の打合せでは、開発の原研総務部長から、原研にR1センターを設置する場合は、つきのような構想にならなければならないとの発表が行われた。これによると、原研の現在の施設を拡大し、これにR1訓練センターを付属するものと考えれば、つきのような部署を設けることになる。

特別研究会(主査福田節雄東名名誉教授)は、七月十一日午後一時から東京・平河町の日本郵政センターで第三十七回の会合を開催。近のハザード・レポートと燃料安

ハザード・レポート 安全特研
伊発電所計画 経済特研

特別研究会(主査福田節雄東名名誉教授)は、七月十一日午後一時から東京・平河町の日本郵政センターで第三十七回の会合を開催。近のハザード・レポートと燃料安

の性格をもつて運営してもよいのではないかと意見を述べた。この結果、R1センターは原研の組織とし、サービスが行き届かない点は改革していったらどうかという意見が一致した。したがって原子力局としては、原子力委員会の決定があれば、原研予算として、昭和三十九年度予算に組み込むことも考えられる。なおこのように体制になったとしても、放同協は現状のまま維持されるが、R1センターは放同協と別のものとして意見の一致を要する。

延期でもめる
JDDR五班制

五班制を実施する案を示したが、工務のほろりとした見通しが立てられぬ状況にあるため、話し合いがつかない。所信は九日から四班三直の業務命令を出して、組合側は直勤務を拒否している。

第二回部会開く 地帯

昨午十一月二日発足した原子力人口分布小委員会(主査田島立夫教授)がこれまでに検討した東海村周辺十一カ市町村の人口分布問題に関する中間報告を聞き部会の今後の運営方針などを審議した。なお、席上つき作業を支持する市計画小委員会の設置を決めたが予定される小委員会は、主査に松井(早大教授)左(都立大教授)田島(立大教授)岩上(茨城県知事)鈴木(茨城県議会)井上(中電会長)谷藤(建設省都市局長)の各委員である。

伊発電所計画 経済特研
ハザード・レポート 安全特研

特別研究会(主査福田節雄東名名誉教授)は、七月十一日午後一時から東京・平河町の日本郵政センターで第三十七回の会合を開催。近のハザード・レポートと燃料安

延期でもめる
JDDR五班制

特別研究会(主査福田節雄東名名誉教授)は、七月十一日午後一時から東京・平河町の日本郵政センターで第三十七回の会合を開催。近のハザード・レポートと燃料安

国会の混乱で流れる 原子力関係の諸問題

第四十三回部会に提出された原子力関係の諸問題は、一存であったが、いずれも採択にならなかった。一つは茨城県麻生井井田出の「原

他一つは茨城県議会議員本沢氏提出の「原子力施設地帯整備に関する」請願で、東海村周辺地区には多数の原子力施設、水射場場が存在し、産業経済的にも急速に伸長しつつあるため、この地帯の計画的整備を急務とするという趣旨である。

なお、今国会には総数三千七百五十五件(一万四千七百九十九通)の請願が提出されたが、国会の混乱のため、採択が決まり内閣に送付されたものはわずかに四件(いずれも法務委員会扱い)であった。

密封線源コース
原研R1研究所で募集

伊発電所計画 経済特研
ハザード・レポート 安全特研

特別研究会(主査福田節雄東名名誉教授)は、七月十一日午後一時から東京・平河町の日本郵政センターで第三十七回の会合を開催。近のハザード・レポートと燃料安

延期でもめる
JDDR五班制

特別研究会(主査福田節雄東名名誉教授)は、七月十一日午後一時から東京・平河町の日本郵政センターで第三十七回の会合を開催。近のハザード・レポートと燃料安

国会の混乱で流れる 原子力関係の諸問題

第四十三回部会に提出された原子力関係の諸問題は、一存であったが、いずれも採択にならなかった。一つは茨城県麻生井井田出の「原

他一つは茨城県議会議員本沢氏提出の「原子力施設地帯整備に関する」請願で、東海村周辺地区には多数の原子力施設、水射場場が存在し、産業経済的にも急速に伸長しつつあるため、この地帯の計画的整備を急務とするという趣旨である。

なお、今国会には総数三千七百五十五件(一万四千七百九十九通)の請願が提出されたが、国会の混乱のため、採択が決まり内閣に送付されたものはわずかに四件(いずれも法務委員会扱い)であった。

密封線源コース
原研R1研究所で募集

品川白煉瓦株式会社
本社 東京都千代田区大手町2-4 電話東京211局3721番(代表)

耐火煉瓦
品川白煉瓦株式会社
社長 藤田 丸

永年の技術と信用を誇る!
トポ印製品

営業品目
石綿製品・テフロン
保温材・耐火板

日本アスベスト

本社 東京都中央区銀座西6丁目3番地1
電話(572)代表 0321 0331

十條製紙

取締役社長・金子佐一郎

本社 東京都中央区銀座東3丁目4番地
工場 十條・伏木・都島・小倉・八代・坂本・釧路

激動する英国原子力産業界

ウィルファア E E が受注

英フォーラムの誕生

久しく低迷を続けていたイギリス原子力産業界は、最近CEGBの動きを中心とした...

苦境に立つUPPC

このたびの建設費千八億円にUPPCとして残されたチャンスであり、一九六〇年原子力発電計画...

百万KWAGRに本腰

イギリス中央発電局(CEGB)は百万KWのAGR型原子力発電所を建設する契約に調印する...

遅れた輸送と貯蔵の研究

使用済燃料でビショップ氏講演

原子力の運搬と燃料の再処理の研究に際しては各同等の相当な努力を払って、照射済み燃料の貯蔵と運搬に際して一般にお...

不発だった反対論

フォーラム設立、満場一致で

従来疑問のうちに最も大きな不安は黒鉛が長期にわたって酸蝕が...

初の使用済燃料海上輸送

スエーデンから米へ四キヤスク

エドロー社はスエーデンのアムステルダムに貯蔵されていた...

ソ連で十二トンの可搬式発電機始動

ソ連の可搬式原子炉である電気出力七百五十KWの有機材炉が...

製造炉に入札招請

チェルニブール原子力発電所は電気出力五百七十五KWの天然ウ...

チェルニブールで真水

チェルニブール原子力発電所は...

東京電力 電柱広告

東電広告株式会社

取締役社長 浅野延秋

美しい広告 明るい社会

東京都港区赤坂浦田町35番地 (481) 8471-7

化学を通じてあらゆる産業に奉仕する

日本曹達

取締役社長 大和田 悌二

本社 東京都千代田区大手町2-4

化学工業薬品 農薬・医薬 非鉄金属 金属チタン ポリリス



通産省原子力産業部会を再開

部会長は堀越禎三氏 原子力発電の早期育成へ

久しく休会していた通産省産業合理化審議会の原子力産業部会が、七月十九日午前十時から東京会館で新しい委員構成のもとに再開第一回の会合を開いた。



この部会は昭和三十五年四月に設置され、同年十一月に原子力産業の育成振興に際して答申をおこした。その後、休会していたものであるが、その再開理由について塚本公益事業局長は要旨の通り説明した。

総合エネルギー政策上、また産業政策上原子力発電の早期育成振興の必要性は最近とて高まってきた。原子力発電は現状において、競争相手たる重油火力発電の経済性の向上による原子力発電の経済性の相対的後退、原子力発電特有の諸問題についての未確定要因の存在等により開発にリスクを伴う情勢下にある。

この部会再開の目的は、原子力発電の早期育成振興に際して答申をおこした。その後、休会していたものであるが、その再開理由について塚本公益事業局長は要旨の通り説明した。



田代東し会長九月に訪仏 日仏協力第二回会談等の打合せ

部会は次回から具体的な審議に入るが、委員は左の通りで、電源開発(株)からの一名と学識経験者一名がまだ決まっていない。

必要の協力の窓口 原子力船懇談会 存続方針決まる

日本原子力産業会議の「アイ」で、部長は菅原長から委嘱する。ソート開発利用調査団は、既報のように九月十五日ごろ出発して約四十五日間、欧米各国のアイソトープ関係機関、施設等を歴訪する。

RI調査団編成進む I G総合研究所核化学研究室 長下島光、昭和電工中央研究所 第五部長平山達、神戶製鋼所 原子力室、中央研究所員永井信行、東洋高圧工業千葉工場 研究所室長平田義男、日本

協定通り実施 JPPDRの 五班制問題 工事の遅延にともない五班三班制の実施延期を所側が申し入れたところ、組合のストに発展して、日本原子力研究所のJPPDR動

常任幹事会の設置決まる 体制固めた原産長期推進協議会 日本原子力産業会議では七月十九日午後、東京丸の内日本工業クラブで開いた理事会後、ひきつづき原子力産業長期計画推進協議会を開き、常任幹事会の設置とこれに伴う常任幹事の委嘱を決めた。

IAEAでRIのシンポジウム 国際原子力機関では十月九日から十三日まで、国際学術会議連合(ICSU)の放射能合同委員会と共催で「化学および生物学におけるアイソトープの質量効果に関するシンポジウム」をウィーンで開催する。

日本原子力産業会議の「アイ」で、部長は菅原長から委嘱する。ソート開発利用調査団は、既報のように九月十五日ごろ出発して約四十五日間、欧米各国のアイソトープ関係機関、施設等を歴訪する。

協定通り実施 JPPDRの 五班制問題 工事の遅延にともない五班三班制の実施延期を所側が申し入れたところ、組合のストに発展して、日本原子力研究所のJPPDR動

常任幹事会の設置決まる 体制固めた原産長期推進協議会 日本原子力産業会議では七月十九日午後、東京丸の内日本工業クラブで開いた理事会後、ひきつづき原子力産業長期計画推進協議会を開き、常任幹事会の設置とこれに伴う常任幹事の委嘱を決めた。

IAEAでRIのシンポジウム 国際原子力機関では十月九日から十三日まで、国際学術会議連合(ICSU)の放射能合同委員会と共催で「化学および生物学におけるアイソトープの質量効果に関するシンポジウム」をウィーンで開催する。

協定通り実施 JPPDRの 五班制問題 工事の遅延にともない五班三班制の実施延期を所側が申し入れたところ、組合のストに発展して、日本原子力研究所のJPPDR動

常任幹事会の設置決まる 体制固めた原産長期推進協議会 日本原子力産業会議では七月十九日午後、東京丸の内日本工業クラブで開いた理事会後、ひきつづき原子力産業長期計画推進協議会を開き、常任幹事会の設置とこれに伴う常任幹事の委嘱を決めた。

IAEAでRIのシンポジウム 国際原子力機関では十月九日から十三日まで、国際学術会議連合(ICSU)の放射能合同委員会と共催で「化学および生物学におけるアイソトープの質量効果に関するシンポジウム」をウィーンで開催する。

Advertisement for P.W.R. S.E.N.A. featuring technical diagrams of industrial equipment and a list of participating companies including Mitsubishi Atomic Industrial Co., Ltd., Mitsubishi Heavy Industries Co., Ltd., and others.

Advertisement for Anoda Fire Marine Insurance (安田火災海上) with a logo and text describing their services for residential and business insurance.

IAEA査察の範囲を拡大

六月十一日から二十日まで開催された国際原子力機関（IAEA）の理事会で、同機関の保障措置の拡大および日米双務協定の保障措置事項の同機関への移管についての案件が仮承認された。この両者は相互に密接な関係があり、ともに機関本来の基本的機能の質的強化に大きく寄与し、機関の権威を高める意味で多大の注目を浴びてきた。

六月十一日から二十日まで開催された国際原子力機関（IAEA）の理事会で、同機関の保障措置の拡大および日米双務協定の保障措置事項の同機関への移管についての案件が仮承認された。この両者は相互に密接な関係があり、ともに機関本来の基本的機能の質的強化に大きく寄与し、機関の権威を高める意味で多大の注目を浴びてきた。

原子力の円滑な開発を図るために、平和利用を促進する一方、平和利用に規制を加えて、軍事利用に転用される危険を防止しなければならぬ。

国際原子力機関（以下機関と呼ぶ）はこの見地から機関憲章、第三章（機能）に「機関は、機関が提供する核物質、核燃料、核機器および核施設が、いかなる軍事目的の達成を助長するような方法で利用されないことを確保するための保障措置を設定し、かつ実施する」権限を持つと規定し、さらに憲章第十二条に機関の行なう各種の保障措置を規定している。具体的な保障措置は、つまり機関の保障措置の適用対象となる範囲ならびに適用手続は、一九六一年一月三十一日の理事会で採択承認された機関文書INFIRC-26「機関の保障措置制度」に具体化されている。したがって参考のため、まず簡単にその内容を紹介する。

JRR-3は保障の対象外

機関の保障措置の適用される対象範囲は、核物質は（一）機関が提供した核物質、（二）機関が提供した核物質の中で生産された特殊核分裂性物質（プルトニウム、ウラン²³³）、（三）機関の保障措置が適用される原子力施設で、使用され、生産されたまたは処理される核物質（（三）前記の核物質と混合中の物質に分れる。（一）については、被援助国内の原子力物質（Peaceful nuclear）の略語で、（二）は平和目的に利用される核物質（（三）の総量が、天然ウランおよびウラン²³⁵の含有量が〇・五%以上の劣化ウランでは十、〇・五%以下の劣化ウランおよびトリウム

六月十一日から二十日まで開催された国際原子力機関（IAEA）の理事会で、同機関の保障措置の拡大および日米双務協定の保障措置事項の同機関への移管についての案件が仮承認された。この両者は相互に密接な関係があり、ともに機関本来の基本的機能の質的強化に大きく寄与し、機関の権威を高める意味で多大の注目を浴びてきた。

六月十一日から二十日まで開催された国際原子力機関（IAEA）の理事会で、同機関の保障措置の拡大および日米双務協定の保障措置事項の同機関への移管についての案件が仮承認された。この両者は相互に密接な関係があり、ともに機関本来の基本的機能の質的強化に大きく寄与し、機関の権威を高める意味で多大の注目を浴びてきた。

加速器

昨年、ワシントンで開催された池田・ケネディ全米会議は、科学技術の分野にも大きな波及効果を生じた。日米科学技術会議が主催した「日米科学技術協力の促進」の会合の一分野として大きく取り上げられた。送られた情報は、毎年増加の途をたどっている。四、五年の間に倍増している。科学技術の平均が二倍、三倍以上のペースで進んでいる。このペースは、科学技術の分野では、二倍、三倍以上のペースで進んでいる。このペースは、科学技術の分野では、二倍、三倍以上のペースで進んでいる。

設計承認や運転記録の報告

設計承認や運転記録の報告は、原子力施設の安全確保に不可欠な要素である。この分野では、国際的な協力と技術情報の強化が求められている。特に、原子力施設の設計と運転に関する情報は、事故防止と安全向上のために極めて重要である。

国際協力で技術情報の強化

国際協力による技術情報の強化は、原子力産業の発展に不可欠である。各国間の技術交流と協力は、安全な原子力発電の実現と環境保護に大きく貢献している。特に、原子力施設の設計と運転に関する情報は、事故防止と安全向上のために極めて重要である。

東海発電炉も対象に 今後問題残す回数増加

東海発電炉も査察の対象となる。今後、査察の問題が残る回数が増加する見込みである。これは、原子力施設の安全確保と国際的な協力強化の観点から重要な課題である。

拡大草案採決に日本は棄権

IAEAの拡大草案採決に際して、日本は棄権した。これは、国際的な協力と技術情報の強化の観点から重要な決定である。

連続査察の可能性

連続査察の可能性は、原子力施設の安全確保と国際的な協力強化の観点から重要な課題である。これは、原子力施設の設計と運転に関する情報は、事故防止と安全向上のために極めて重要である。

協定発効の時期は九月中旬

協定発効の時期は九月中旬と見込まれている。これは、国際的な協力と技術情報の強化の観点から重要な決定である。

原子炉停止の補償も未解決

原子炉停止の補償問題は依然として未解決である。これは、国際的な協力と技術情報の強化の観点から重要な課題である。

原子力産業の現状と問題点

原子力産業の現状と問題点について、国際的な協力と技術情報の強化の観点から重要な課題である。これは、原子力施設の設計と運転に関する情報は、事故防止と安全向上のために極めて重要である。

企業には 利益保険
御家庭には 住宅総合保険

日産火災海上

東京都中央区日本橋通り1-6
電話 (211) - 2361

5部門を総合した 多角経営を誇る!!

門部	金属
門部	炭学
門部	酸化チタン
門部	機械
門部	その他産業機械
門部	電

古河鋳業

取締役会長 新海英一
取締役社長 橋原良一郎
本社 東京都千代田区丸の内二ノ八

同和鋳業

硫化鉄鉍・電気銅
電気亜鉛・金・銀
硫酸・脱銅焼鉄鉍

同和鋳業 資本金10億円

会長 猪瀬 弁一郎
社長 新井 友蔵

本社 東京都千代田区丸の内1の1鉄鋼ビル
事業所 小坂・花岡・福原・赤金・日正・岡山・尼崎・片上